

一般質問発言通告要旨

通告者 12番 小林 幸悦

1 西長野交流センター（旧西長野小学校）の今後の在り方について

西長野小学校は平成20年に閉校となり、その後西長野交流センターとして体育館を含め多くの方達から利用されている。他にも選挙の投票所、災害時の避難場所また、検察庁の角館区として一室を利用している。

交流センターとして利用を始めてからしばらくの間、学校の給水方法が受水槽方式であったため使用量が少ない場合、受水槽の中で雑菌が発生する恐れがあり飲料水としてはもちろん、手洗もできずトイレで流すだけの利用しかできない状態であった。その対応として直圧方式に変える工事がされ今は安心して利用されている。

また、消火設備も配管の漏水等により消火栓の機能が発揮できないため、消火器設置型の工事もしている。屋根の塗装や修繕もお願いしたが予算の関係で少し待てと言われて現在に至っている。屋根の現在の状態は見ていただければ一目瞭然だがすこぶる悪く、このままだと近いうちに多くの雨漏りが発生する恐れがあるため出来るだけ早い対応が必要と考える。

市は今後、西長野交流センターの在り方をどう考えていくか伺いたい。

合わせて工事を実施した場合どれくらいの工事費を要するのかも伺いたい。

2 老朽化が著しい市営住宅への対策は

市営住宅について行政計画では、入居者が快適に生活できるよう修繕等を実施していくとあるが、老朽化が著しい住宅については「住めば都」との思いで生活されていると思うが修繕等の要望に対応ができているのか伺う。

角館の岩瀬住宅もかなり老朽化している。市道岩瀬北野線が開通し病院も建設されたことから沿線に住宅や店舗の新築が進み交通量も多くなっている。そのような環境の中で岩瀬住宅がある一角だけが時代から取り残されたような建物に見える。

外からだけしか見てないが、二階建てからして地震などの災害が発生した際は大丈夫か。

汲み取り式のトイレに取り付けられる臭気抜きが見られるが、水洗化になってはいないのか。

排水は下水道に接続されているのか。

岩瀬住宅は何棟建っていて全部で何戸あり入居されているのは何戸か。

現在、仙北市全体の市営住宅は何戸あり入居率はどれくらいか。また老朽化が著しく入居者が退去された後解体を考えている住宅は何戸かも伺いたい。

3 旧角館公立病院解体の見通しは

平成 29 年に新病院に移転してから 5 年が過ぎ、これまで解体に向けた準備をしてきたと思うが、いつ頃になれば実施出来るのか見通しがつくようであれば伺いたい。

解体工事費も当初の予定より大幅に掛かり増しになるとのことだが、現在はどれ位の工事費を要するのか伺う。

解体後の土地については売却し、管理棟は市の書庫として利用していきたいとの説明もあったが考えは同じか。

一般質問発言通告要旨

通告者 1番 西宮三春

1 小中学校のトイレ環境の早期改善を。

6月後半から7月上旬にかけて、市内全ての小中学校を訪問させていただき、トイレの状況について伺った。私が伺った中で、

- ・休み時間に洋式トイレを使用できず、授業中にトイレに行く生徒がいる。
- ・洋式トイレの割合が少なく、休み時間に列ができています。
- ・体育館に洋式トイレがなく、文化祭などで訪れた高齢者が不便な思いをしている。
- ・悪臭などが原因で一日中トイレに行かない生徒がいる。
- ・白岩小学校では、洋式トイレが故障中のままで、使用できずにいる。
- ・生保内小学校では、数か所のトイレのタイル壁が今にも落ちそうな状況。

- (1) このような学校のトイレ環境と子どもたちが不便を強いられている状況を市は把握しているのか。
- (2) 洋式トイレを増やす、悪臭改善等、必要なトイレの改修を早期にお願いしたいが、市の考えは。また計画はあるのか。

2 せんぼくこまくさプラン事業の継続と絶え間ない支援を

令和3年7月よりコロナ禍による経済的な理由や家庭事情により生理用品の用意が難しい方への支援として、無料で生理用品を提供している。

- (1) 一般の方への支援について
 - ①毎月の利用者数について
 - ②事業の継続について
 - ③市民の中には、まだまだこの事業を知らない方がいるのでは。現在行っている周知方法は。
 - ④ナプキンの種類を増やす要望や、予定はあるか。
- (2) 小中学校、高校、せんぼく校で行っているこまくさプランについて
 - ①子どもたちと保護者にどのようにしてこまくさプランの事業を周知しているのか。
 - ②こまくさプランが開始されてからどのような性教育が行われているのか。
 - ③小・中・高校と絶え間ない支援として、ナプキンを個室に配置するという統一を図ることはできないのか。

3 旧西木公民館、冬の安全対策について

旧西木公民館は、昨年度落雪により道路側に設置されていたブロック塀が壊れた。西明寺小学校へ通う子どもたちの通学路、冬期間の西明寺小学校、にこにこ子ども園の送迎のルート変更により交通量が若干増えることが想定される。ブロック塀がなくなっ

て最初の冬を迎える前に伺う。

- (1) 旧西木公民館の解体時期について
- (2) 想定される落雪による安全対策について

4 市民が利用しやすい庁舎開放を

角館庁舎の案内では、仙北市庁舎管理規則にもとづき、「使用の目的、内容が市の業務の遂行を妨げず、かつ、庁舎の秩序の維持又は災害の防止に支障がないと認められる場合」に限り、庁舎1階の101・102会議室および市民スペースを無料で市民の皆さまに開放します。となっている。

市民の方から利用しにくいとの声があり、市民が集い、親しみやすい庁舎にしたい、以下の点を伺う。

- (1) 開庁日とは、12月29日～1月3日以外の土日、祝日のことだが、利用時間が18:00～21:30となっており、日中利用できない理由は。
- (2) 全ての利用可能日は、21:30までとなっているが、実際はそれよりも前に行っても施錠されていて利用できないが、その理由は。
- (3) 開庁日は、駐車場に近い横の出入り口が開かず、やっていないと勘違いされている市民もいる。横の出入り口を施錠している理由は。
- (4) 他市の事例を挙げると、湯沢市では庁舎のスペースで夜間学生が勉強している光景が見られるが、角館庁舎も駅に近く、学生が電車の待ち時間や送迎の待ち時間に勉強できるスペースとして、市民スペースが活用できると思うが、広く市民の皆様を活用していただきたいという考えはあるのか。

一般質問発言通告要旨

通告者 2番 小田島 広 仁

1 当市において、財政難という現状については、早急に何とかしなければならない最重要課題と考えている。市政において、予算状況等々を見ても歳出については「我慢している」「現状ではやれない」という状況であり、もちろん圧縮する部分は必要であるが、住民サービスを維持していくには、ある程度の歳出が必要であり、その歳出を確保するためには歳入を増やすことを考えなければならないのではないかと思うが、以下について伺う。

(1) 今後、歳入、税収を上げられる現実的な可能性について。

(2) ふるさと納税について

①直近3年のふるさと納税の寄付額と件数（企業版と個人）、リピート率について。

②残念ながら、令和3年度は前年度に比べ減少しており、その原因について。

③商品造成（返礼商品）の決め方と顧客管理への取組等の具体的な方法について。

④情報発信と営業的な仕掛けについて具体的に実施していることについて。

(3) 【返礼品なし】劇団わらび座応援寄附（芸術文化振興）について

①現在、取扱中止となっているが、商品造成についての経緯と販売期間、寄付額と件数、取扱中止とした理由と今後の展開について。

②寄付金の取扱いについて。

③民間企業を応援する内容であるが、市内の企業において同様の趣旨で、ふるさと納税商品造成の依頼があった場合はどのように対応するのか。

2 当市は「観光の町」と声を大にして言えると考えている。そして2020年度は入湯税収入額が全国19位にランクされるような素晴らしい温泉地である。「入湯税」については国が1人150円を標準と決め、その用途は環境衛生施設の整備、鉱泉源の保護管理施設の整備、消防施設その他消防活動に施設の整備、観光の振興（観光施設の整備を含む）に要する費用に充てることとされている。

入湯税が充てられた経費については毎年当市でも公表されており、歳出として入湯税を充てられる事業経費に対し、歳入は全く不足している状況である。

標準額が150円とされているが、標準額超過課税を実施している自治体が存在している。税率については一律ではなく、日帰り、宿泊施設で分けたり、料金で分けたりしているが、標準超過課税を実施している自治体は

2020年4月 北海道登別市 150円→300円

2019年4月 大分県別府市 150円→250円 50,001円以上 150円→500円

2018年4月 北海道上川町（層雲峡温泉一部ホテル）150円→250円

2016年6月 大阪府箕面市 150円→200円

2015年4月 北海道釧路市 150円➡250円

2009年4月 三重県桑名市(1978年長島町実施。合併5年後全市で実施)150円➡210円

2005年4月 岡山県美作市 150円➡200円 という状況である。

釧路市では入湯税超過課税を見込み、実施前に来訪者へアンケート調査を実施したところ、「使途が明確になっていれば、積極的に協力したい」(50.7%)
「これからは地元だけでなく、来訪客も積極的に協力したい」(18.5%)
という前向きな回答が寄せられ、入湯税の追加負担額として151円~200円(30.1%)
101円~150円(21.6%)が多く挙げられた。

私自身、旅行業を営んでいるが、入湯税についてお客様に聞いてみたところ、
・各自治体で決まったものだから、仕方がない。
・千円単位で変わるのであれば違和感があるが、旅行先が頑張るためなら問題ない。
・入湯税が他地域よりも高くても、そこに行きたいと思い旅行先を決め、宿泊代金も宿泊施設毎に変わるので、気にしない。

等のお話を頂戴した。基本的に旅行先を決める場合、「入湯税はいくらか？」という考え方は存在せず、ある程度入湯税が発生することはお客様が了承している。

ちなみに、先日、南三陸町への旅行を企画実施し、南三陸町の入湯税は40円であったが、安いことにも特に反応はなかった。

当市の財政を考えるならば、今後、観光振興に充てる予算捻出も厳しくなると私は予想するが、準備をしっかりと、関係者がまとまるという前提で、前向きに増税を検討していくべきではないだろうか。

ただし、今まで通りの使い方ではなく、旅館等が特別徴収義務者として入湯客から入湯税を徴収し、市に納入しているということを考えるならば、増収になった部分の一部でも、観光関係者の意向に沿った、見える形で使えるようにすべきではないかと考え、それが来訪者に対して「おもてなし」となり、観光地としての当市の魅力アップ等に繋がると考えるが、見解を伺う。

- 3 仙北市プレミアム商品券については関係者の方々にご難儀をおかけしたと考えている。8月末で購入引換期間が終了したが、市民から「本当に助かった。」「また実施して欲しい。」「残念ながら全員分は当たらなかった。」等々、様々な声が届き、市民にとっても重要な事業であったと考えている。また、その声を聞くと、本事業について興味をお持ちの方々も多く、9月1日、田口市長から市政報告にて8月26日現在での報告があったが、最終的な下記についての状況について伺う。
- (1) 申込人数、申込冊数、当選人数、購入引換冊数について。
 - (2) 抽選方法について。
 - (3) 1枚も当たらなかったご家庭はあるのか。また3人で12冊当選されたご家庭はあるのか。
 - (4) 購入希望冊数未記入により、1冊となってしまったご家庭はあるのか。
 - (5) トラブルや市民からのご意見、ご要望等はなかったのか。

一般質問発言通告要旨

通告者 3番 中村和彦

1 JR角館駅周辺の整備等について

- (1) 角館駅東公園の今後の環境整備について
- (2) 東西自由通路について
- (3) 県道日三市角館線と市道田町山公園線の交わる交差点の信号機設置と道路一部拡幅、交差点の除雪について

2 落合運動公園周辺の景観について

- (1) 土手の桜等は整備が進んでいるが、球場の裏手側が残土や雑木、草等で桜の全体が見えない。整備してすばらしい景観を市民、観光客に是非、散策し見ていただきたいがどうか。
- (2) 364本程ある桜を名勝指定にできないか。そうなれば、現在の約2km+約3kmで5kmの日本一の桜ロードとなり、市民や観光客への新たなPRとなり、人の分散化もでき、滞在時間の延長にもつながるがどうか。

3 仮称、お祭り会館について

- (1) 国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ世界無形文化遺産登録である角館のお祭りの重要性和誇りについて伺う。
- (2) 時代を担う子供達の手踊り、お囃子等の練習場所、展示室、物販、会議室等備えた会館を建設し、市民、観光客が楽しめる新たな観光スポットにしてはどうか。

4 道の駅構想について

- (1) 現在の状況はどうなっているのか。
- (2) 今後の内容、規模、実現方法はどうか。

一般質問発言通告要旨

通告者 4番 澤田雅亮

1 消防団について

(1) 仙北市における消防団員の年額報酬及び出動報酬について

令和4年4月28日総務省消防庁の報道資料から令和4年4月1日時点での消防団員処遇改善に掛かる対応状況調査を行い、まとめた内容から全国の市町村の報酬に関するデータが発表されている中で仙北市は「団員」階級の者について年額報酬が30,000円、出動報酬が5,000円であるが、消防庁が令和3年4月13日団員級で年額36,500円、出動報酬災害時1日あたり8,000円を定め、各市町村に報酬等の検討を求める旨の通知を出したと情報がある。仙北市ではこの基準に合わせる予定はあるか、また合わせるのであればいつ頃からか。

(2) 全国的に消防団員の確保が非常に課題となっているが、仙北市の消防団員定数は630人と認識しているが現在のトータル人数及び女性の人数をお答え頂いた後、女性の割合をどれほど上げたいか、また上げたい理由は何か。

(3) 団員数を増やしたいのであれば性別、年代、割合を明確に数字化した上でそれぞれの世代、性別にあった施策が必要になると思われる。【2020年消防団員確保のための活動事例集】を見ると下記のような事例が見られる。

- ・イベント時に消防団員によるブース作成
- ・各地域にて懇談会の開催
- ・団員による訪問等の募集活動

これらは主に団員によって行われるものであるが、その中でも長野県松本市の取り組みで市役所消防隊が設立され、新規採用職員や若手職員を対象とした勧誘活動が行われている。

また、同じ長野県内で消防団員応援カードを配布しており、応援ショップにご登録頂いている店舗や施設に提示することで、割引等の特典サービスを受けることができるといった事も行われている。

具体的な提供サービスの例は以下のとおり

- ・飲食店 利用料 10% 割引、ドリンク 1 杯サービス など
- ・商店 商品代金 5% 割引、ポイント 2 倍、粗品進呈 など
- ・金融機関 ローン金利の優遇、新規契約で図書カードプレゼント

これらの情報から勧誘に対しての具体的な動きがコロナ等で制限されているが、それを理由にし続けることで人口の減少率等から取り返しのつかない状況に陥る前に対策が必要と考えるがどうか。

※余談だが、婚活イベントを開催した地域もある。

2 仙北市のマイナンバーカード促進について

マイナンバーカードの利点と今後の予定として以下のものが挙げられる。

1) 基本4情報と言われる氏名、生年月日、性別、住所が確認できることから本人確認は既に証券会社などの口座開設手続きで利用されているが、その先に「変更後の4情報」を民間企業も知れるようになる。これまで顧客管理には自力で大きな負担を強いられてきたが、これからは社会基盤がそれを担う。

2) 健康・医療情報へ活用し、重複検査や治療、薬剤処方が無駄が大きく減らせることに加え、社会保障の補完機能である生命保険ではより正確なリスク判定の可能性が高まる。

いずれも、将来今以上の形になることで利便性が高まるというのは想像できるかと思われる。

(1) 仙北市の8月14日時点で市民のマイナンバーカードの普及率は36.6%と報告を受け、国の方針でも令和4年度中にほとんどの国民がカード取得を目標としているが、昨年10月に普及率を確認した際は30%だったため、伸び率を考えるとほとんどの市民に普及させるのは現実的では無いと考える。令和4年度中の現実的な目標はどれくらいか。

現在の仙北市職員の取得率も合わせてお答えください。

(2) 目標と達成のためには年代別の普及率目標の設定も必要と考えるが、具体的な施策とスケジュールはどうか。

(3) マイナポイントのための窓口を8月2日～令和5年2月28日開設中であるが、現在の実績と実績の目標設定はどうなっているか。

(4) 他市町村と比べ県内でも普及率が高い地域があるが、その方法の確認はしているか。
※県内では藤里町が63.4%と発表されており、特別な方法ではなく2年前より確定申告の際に窓口で徹底したお声がけ、町民窓口にご来庁された方へのお声がけの徹底というそれだけで普及率を上げている。

(5) (4)の質問の内容から職員の地道な努力が結果に現れており、田口市政が進める人事評価の適正な見直しの為、各課での取得数を目標設定することで人事評価への明確な算定方法になるのではないかと思うがどうか。

3 第三次仙北市観光振興計画策について

新型コロナウイルスの世界的流行により3年目に突入し、仙北市でも令和5年度に向け新たな観光振興計画立ち上げのための準備をすすめており、策定のための業務委託の公募を8月22日まで行い、すべて予定通りにいけば9月中旬に契約締結、業務開始とある状況かと思われる。

(1) 応募件数はどれくらい集まったか。

(2) 業務委託を依頼する理由は何か。

(3) 先の第二次仙北市観光振興計画について

振興計画書全 78 ページの内観光振興計画の説明に入るのが 51 ページからで具体的なアクションプランが始まるのが 60 ページからであるが、分析はあくまでも計画策定のための数値なので、その数値をもとにしたより具体的なスケジュールとプランを本来計画に載せるべきと考える。そして記載されている内容もプロジェクト 1 では湯治文化の再創造～温故知新～と 57 ページに記載があるが、効用を明確にする効果的な入浴～、小トリップ～プロジェクト 2 では各地域の利点を生かした活用方法を 58 ページで書かれているが、プロジェクト 3 を含むすべての内容を見たときに具体的というよりも昔から言われている事をプレゼン資料のようにまとめている印象を個人的に受けた。

- ①プロジェクト 1 の新着状況及び実現できた内容、観光において向上した内容を伺う。尚、データはコロナ前の状態で結構である。
- ②プロジェクト 2 を上記と同様にお願いします。
- ③プロジェクト 3 を上記と同様にお願いします。

(4) (3) の質問の内容を踏まえコロナに直面し 3 年目となるが、1 年経った時点で早急な計画の見直しはなされたか。なされなかったのか伺う。

(5) UNWTO (国連世界観光機関)、IATA (国際航空運送協会) の需要予測では全世界の観光需要がコロナ禍以前まで回復するのは、2023 年半ば～2024 年頃とされており我が国でも 9 月 7 日よりワクチン接種完了を条件にチェックイン時の陰性証明提示義務が免除される予定である。これにより需要回復がデータから確認できるように回復していくと思われるが、それが地方である仙北市がその回復の波に乗れるかが、今後策定する第三次観光振興計画になると思われる。それを踏まえ第二次観光振興計画 67 ページに記載のある通りのサービス内容向上について、現在どこまで進んでおり、どこまで進めるのか伺う。

(6) 総合計画、観光計画、その他すべての計画は、今後仙北市が発展していく上で何よりも確実に重要になると思われる。今までのように昔から言われている問題点を羅列し、それらしい内容を策定するよりもデータや課題が既にわかりきっているのであればそれを具体的に形にしていく地道だが確実な整備が必要である。

大変参考にさせて頂いている例としては【写真の町】としても知られる北海道東川町である。国内初の公立日本語学校を作ったことで確実な外国人の移住や訪日を目指し、実際数字としても確実にわかりやすく伸びている実績が上がっている。写真の町ということで国内外から様々な写真家が訪れることでも人気の町であるが、仙北市にも仙北市民も職員の皆様も既にわかりきった【自然と文化があふれる】ということであれば必然的にこのポテンシャルを秘めているのは今更説明しなくてもわかるはずである。実際、仙北市でも東川町に視察に行ったことがあったと思うが、そこから得たもの、参考にしなければならないものは何か。

(7) 将来への目標は過去の数字を分析するのは当たり前ですが、何よりも、この仙北市を5、10年その先にどうしたいのか。農業地帯の抜本的な改革、観光地を自然文化を守るのは大前提の当たり前として、その上でリゾート化に繋げるのかどうか。またそれらを2本柱としてエネルギー産業に取り組むのか。現段階の計画等を見ても具体的に進みたい先がよくわからない状況である。

市として今後、仙北市をどうしたいのか観光文化スポーツ部長および田口市長よりお答えを聞かせていただきたい。

一般質問発言通告要旨

通告者 13番 青柳 宗五郎

- 1 旧病院跡地の整備計画と今後の活用について
新病院建設から5年経つが、どのように整備されるのか。現在見えない状態にあるので伺う。
 - (1) 解体費用はいくら位かかるのか。
 - (2) 跡地はどう活用するのか。

- 2 菅沢踏切から国道105線までの道路改良について
角館町時代から県に要望もしてきたが、立ち消え状態にある。交通の安全を考えると改良するべきではないか伺う。

- 3 元JA角館より購入した土地利用について
菅沢踏切から国道105号線道路改良の地権者の代替地として購入したと思っている。今後の活用について伺う。

- 4 JR角館駅の東西自由道路について
国道105号線側に大型店などもあり、駅利用者には西側にある公園駐車場が利用できるなど便利でもある。取り組むつもりはないか伺う。

一般質問発言通告要旨

通告者 14番 真崎 寿 浩

1 抱返り溪谷周辺の整備について

(1) 安心安全な観光地としてのさらなる整備を

- ①遊歩道のみならず安全柵の設置状態（嵩上の必要性）、夕暮れ時の照明等、全体的な安全対策は万全なのか。
- ②緊急時の対応については万全なのか。（常設対応の必要性は）

(2) 受け入れ体勢のさらなる充実を

- ①通年観光ができる体制づくりは。
- ②遊歩道の未整備区間の整備に関して、県に対する働きかけはどうなのか。（具体的な計画は）
- ③駐車スペースの整備の考え方は。
- ④夏瀬温泉へのアクセス道路のさらなる整備の必要性は。
- ⑤「なぜ、ここに遊歩道が設置されたのか。」など、歴史的背景や経緯などを生かしての整備はできないのか。

2 水道事業について

(1) 供給体制は万全なのか。（老朽管更新事業の加速を）

(2) 整備計画に対して、平等性は保たれているのか。（不公平感は生じていないのか）